

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公開番号】特開 2018-130407 (P2018-130407A)

【公開日】平成 30 年 8 月 23 日 (2018.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2018-032

【出願番号】特願 2017-27353 (P2017-27353)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 22 日 (2019.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤と、
前記遊技領域に設けられた始動口と、
前記始動口への遊技球の入球を条件として、所定の保留情報を記憶する保留記憶手段と

、
始動条件の成立により、記憶部に記憶された保留情報に基づいて、特定図柄を含む複数種類の図柄のうちのいずれかを決定する図柄決定手段と、

前記図柄決定手段によって決定された図柄を図柄表示部に表示させる図柄表示手段と、

前記図柄表示部に表示された前記特定図柄に応じて、前記遊技領域に設けられた大入賞口を開閉制御して特定遊技を実行する特定遊技実行手段と、

前記特定遊技において大入賞口に入球した遊技球が特定領域に進入した場合に、前記図柄表示部に表示された前記特定図柄に応じて、大入賞口が開放される複数回のラウンド遊技で構成される大役遊技を実行する大役遊技実行手段と、

第 1 の遊技状態、または、前記第 1 の遊技状態よりも前記始動口への遊技球の入球が容易となる第 2 の遊技状態に遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、

を備え、

前記特定図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されているか否かを判定し、その判定結果に応じて演出を実行する演出実行手段をさらに備え、

前記演出実行手段は、

前記第 2 の遊技状態において記憶され、かつ、前記第 2 の遊技状態から前記第 1 の遊技状態に変更された後に図柄が決定され得る保留情報の判定結果に基づいても前記演出を実行可能である遊技機。

【請求項 2】

前記特定図柄には、特定有利図柄、および、前記特定有利図柄よりも不利な特定不利図柄が設けられ、

複数種類の図柄には、前記特定図柄と異なる大当たり図柄が含まれ、

前記大役遊技実行手段は、前記図柄表示部に前記大当たり図柄が表示された場合に、前記大役遊技を実行し、

前記演出実行手段は、

前記特定不利図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されている場合と、前記大当たり図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されている場合とで、共通の演出を実行可能である請求項１に記載の遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技領域に設けられた始動口と、前記始動口への遊技球の入球を条件として、所定の保留情報を記憶する保留記憶手段と、始動条件の成立により、記憶部に記憶された保留情報に基づいて、特定図柄を含む複数種類の図柄のうちのいずれかを決定する図柄決定手段と、前記図柄決定手段によって決定された図柄を図柄表示部に表示させる図柄表示手段と、前記図柄表示部に表示された前記特定図柄に応じて、前記遊技領域に設けられた大入賞口を開閉制御して特定遊技を実行する特定遊技実行手段と、前記特定遊技において大入賞口に入球した遊技球が特定領域に進入した場合に、前記図柄表示部に表示された前記特定図柄に応じて、大入賞口が開放される複数回のラウンド遊技で構成される大役遊技を実行する大役遊技実行手段と、第１の遊技状態、または、前記第１の遊技状態よりも前記始動口への遊技球の入球が容易となる第２の遊技状態に遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、を備え、前記特定図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されているか否かを判定し、その判定結果に応じて演出を実行する演出実行手段をさらに備え、前記演出実行手段は、前記第２の遊技状態において記憶され、かつ、前記第２の遊技状態から前記第１の遊技状態に変更された後に図柄が決定され得る保留情報の判定結果に基づいても前記演出を実行可能である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、前記特定図柄には、特定有利図柄、および、前記特定有利図柄よりも不利な特定不利図柄が設けられ、複数種類の図柄には、前記特定図柄と異なる大当たり図柄が含まれ、前記大役遊技実行手段は、前記図柄表示部に前記大当たり図柄が表示された場合に、前記大役遊技を実行し、前記演出実行手段は、前記特定不利図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されている場合と、前記大当たり図柄が決定される保留情報が前記記憶部に記憶されている場合とで、共通の演出を実行可能であるとしてもよい。